

# 加須市立図書館運営指針

平成24年3月

加須市教育委員会

# 目 次

第1章 指針策定の趣旨	P 1
第2章 図書館の基本的なあり方	P 2
第3章 加須市立図書館の現状	P 3
1 市内4館の概要	P 3
2 図書環境の状況	P 4
(1) 蔵書数	P 4
(2) 利用状況（来館者数、貸出利用人数、貸出数）	P 4
(3) 資料の受入数	P 5
(4) 逐次刊行物の購入数	P 5
(5) 市内図書館の情報システム等の現状	P 6
第4章 図書館運営の主な課題	P 6
1 加須市立図書館としての一体的運営の強化	P 6
2 図書館資料の充実	P 8
3 情報発信と広報活動の強化	P 9
4 地域ボランティア等の育成	P 9
5 図書館サービスを担う職員の育成と配置	P 9
6 図書館利用に関するアンケートから見るニーズへの対応	P 10
第5章 今後の加須市立図書館運営の基本方針	P 11

## 第1章 指針策定の趣旨

本市は、平成22年3月23日に旧加須市、騎西町、北川辺町、大利根町の1市3町が合併し、市域の面積が約133平方キロ、人口は11万7千人を超える規模の市となりました。

旧1市3町の図書館は、合併前からそれぞれに設置されており、この合併により蔵書総数48万点（図書、雑誌、AV資料など全て含む）を超える4館体制からなる新たな加須市立図書館が誕生しました。

このことに伴い、旧1市3町の図書館整備構想などによってそれぞれ運営されてきた図書館について、合併を機に「加須市」における図書館の基本的なあり方を検討するとともに、市民がより充実した図書館サービスを受けられるように、市内4館のみならず他の公共図書館や関係機関等との連携・協力を一層進める必要があります。

また、社会が急激に変化している近年、図書館を訪れる市民の要望も高度化・多様化し、読書要求に限らず、人生観形成や問題解決のためなどの情報を得るため、情報の宝庫である図書館への期待もますます高まっています。

それに加えて、IT社会の急速な進歩により、市民が様々なツールを利用して膨大な情報にアクセスしやすくなってきています。その必要とされる情報アクセスを支援しつつ、地域の情報発信拠点としての役割も図書館に期待されているところです。

しかしながら、国による税財政制度の改革による自治体財政は、年々厳しさを増しており、本市においても、今後の長寿化の進行に伴う経費の増加、生産年齢人口の減少による税収の落込みが懸念されるなど、今後も厳しい財政運営になることが見込まれます。

そのような状況下で、市民の要望に応えつつ図書館運営をしていくためには、図書館界の動向を踏まえ、IT社会に対応しながら、効果的・効率的な図書館運営をしていく必要があります。

当教育委員会では、このような状況を踏まえるとともに、平成23年度に策定した「加須市総合振興計画」のまちづくりの基本目標の一つに掲げる「健やかで豊かな心を育むまちづくり」を目指し、「誰もがいつでも楽しく学ぶ」ことのできる生涯学習の拠点施設として、今後の加須市立図書館の基本的なあり方を検討するとともに、効率的な運営や図書館サービスの充実を目指し、加須市立図書館運営指針を策定しました。

## 第2章 図書館の基本的なあり方

本市では、平成23年12月に、平成32年度までの10年間にわたるまちづくりの指針となる「加須市総合振興計画」を策定しました。

この計画で図書館は、「健やかで豊かな心を育むまちづくり」の中における、「誰もがいつでも楽しく学ぶ」生涯学習の推進のための施設として、その施設の充実と有効活用により、生涯学習に取り組みやすいまちづくりを推進していくものと位置づけております。

加須市立図書館は、時代の変化に伴う高度化・多様化した市民の学習ニーズや社会的要請に対応し、「誰もがいつでも楽しく学ぶ」ことができる図書館を目指し、次の事項を加須市立図書館の基本的なあり方として捉え、効果的で効率的な図書館運営を行っていきます。

### 1 生涯学習を支援し、親しまれ活用される図書館

『ユネスコ公共図書館宣言』（1994年）に「公共図書館は、個人および社会集団の生涯学習、独自の意志決定および文化的発展のための基本的条件を提供する」とあり、利用者の生涯学習や知的好奇心に応えられるよう様々な資料を収集、整理、保存、提供する必要があります。

### 2 文化・情報拠点としての図書館

文部科学省の『これからの図書館像～地域を支える情報拠点をめざして～』（平成18年3月）に、図書館が「重要な知的基盤」で、「地域の文化や経済社会発展を支える施設」であり「地域の行政や住民の自立的な判断を支える情報拠点」であると述べられており、情報化社会の変化に柔軟に対応しながら様々な形で市民が求める情報を発信していく必要があります。

### 3 暮らしや地域づくりに役立つ図書館

地域の歴史、文化、産業などの特色を活かした地域づくりや、利用者が向き合うことになる日々のふとした疑問から地域的な課題にいたるまでの、課題解決や市民が必要とする情報へのアクセスを支援する必要があります。

### 4 連携・協力・協働する図書館

厳しい財政運営の中での図書館は、利用者のニーズに対し1館で対応を完結できることが難しくなっています。そのため、市内4館や他の公共図書館や各関係機関と連携し、協力しあって、そのニーズに応えられるように努めていく必要があります。

また、地域のボランティア団体など図書館を取り巻く団体にも協力を求め、市民と協働して図書館運営や活動の充実を図る必要があります。

### 第3章 加須市立図書館の現状

#### 1 市内4館の概要

本市には、現在4つの図書館があります。その概要は次のとおりです。

	加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	童謡のふる里 おおとね図書館 (ノイエ)
所在地	中央 2-4-17	根古屋 633-10	麦倉 1473-1	琴寄 597-1
延床面積	2,480 m <sup>2</sup>	1,291 m <sup>2</sup>	1,032 m <sup>2</sup>	1,672 m <sup>2</sup>
開館時期	H16.11.7.	H16.4.8.	H16.10.1.	H16.3.14.
収蔵能力	26万冊	12万冊	10万冊	13万冊
形態	複合館	複合館	複合館	単独館
開館時間	9:30～20:00	9:30～18:00		
休館日	毎週火曜日・ 館内整理日 (土・日及び 祝日に当たる 場合は直後の 定期休館日以 外の平日) 年末年始(12 月28日～1月 4日) 特別整理期間	毎週月曜日・館内整理日(土・日及び祝日に当たる場合は直後の定期休館日以外の平日) 年末年始(12月28日～1月4日) 特別整理期間		
貸出可能 点数及び 貸出期間	図書・雑誌・紙芝居 20冊まで15日間 CD・ビデオ・DVD 3点まで8日間			
利用者用 インター ネット端 末の有無	2台	なし	なし	2台

表1 市内4館の概要

## 2 図書環境の状況

### (1) 蔵書数（平成22年度末現在）

	加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	童謡のふる里 おおとね図書館 (ノイエ)
奉仕対象人口 (4/1 現在)	69,539 人	20,507 人	12,705 人	14,588 人
蔵書数(図書)	215,939 冊	89,516 冊	61,858 冊	83,406 冊
蔵書数(雑誌)	6,206 冊	8,898 冊	3,638 冊	4,528 冊
蔵書数(AV)	2,584 点	4,134 点	2,031 点	3,140 点
蔵書数(合計)	224,729 点	102,548 点	67,527 点	91,074 点
人口1人当たりの図書 蔵書冊数	3.11 冊	4.37 冊	4.87 冊	5.72 冊

表2 市内4館の蔵書数

平成22年度末現在の蔵書数は、市内合わせて48万点を超える蔵書を所蔵し、埼玉県図書館協会発行の『平成23年度 埼玉の公立図書館』によると、人口1人当たりの図書蔵書冊数が、県下平均2.99冊のところ、加須市立図書館は3.92冊となっており、近隣の羽生市3.29冊、行田市2.83冊、久喜市2.82冊、鴻巣市2.49冊より多くなっています。

### (2) 利用状況（来館者数、貸出利用人数、貸出数）（平成22年度末現在）

	加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	童謡のふる里 おおとね図書館 (ノイエ)
来館者数	—※1	120,412 人	37,824 人	102,358 人
貸出利用人数	96,266 人	33,440 人	20,228 人	50,787 人
貸出数(図書)	260,294 冊	121,011 冊	64,576 冊	187,383 冊
貸出数(AV)	24,067 点	15,566 点	9,595 点	16,693 点
人口1人当たりの図書 貸出数	3.74 冊	5.90 冊	5.08 冊	12.85 冊

※1 来館者カウンターの設置なし

表3 市内4館の利用状況

平成22年度末現在の各館の利用状況は表3のとおりであり、市内4館における図書貸出数は合計633,264冊(市外利用者分を含む)で、人口1人当たりの貸出数は5.40冊となっており、県下平均5.68冊を下回っています。

近隣との比較としては、羽生市4.30冊、行田市6.29冊、久喜市3.24冊、鴻巣市5.29冊となっています。

### (3) 資料の受入数

	加須図書館		騎西図書館		北川辺図書館		童謡のふる里 おおとね図書館 (ノイエ)	
	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度
図書	7,216 冊	7,300 冊	3,310 冊	3,500 冊	3,523 冊	3,600 冊	2,547 冊	2,900 冊
A V	115点	119点	57点	65点	78点	55点	44点	55点

※22年度は受入数・23年度は購入予定数

表4 市内4館の資料の受入数・購入予定数

1年間で約7万冊の図書が出版されている状況の中、平成22年度の資料の受入数(寄贈資料等も含む)と平成23年度で購入予定数は表4のようになっています。

図書館資料の購入にあたっては、出版される図書の中から「加須市立図書館資料収集要綱」及び「加須市立図書館資料収集基準」に基づいて、利用者ニーズや図書館資料としての適正などを踏まえ、購入しています。

しかし、限られた予算の中での図書の購入であり、利用者ニーズに配慮した計画的な資料の整備が必要となっています。

### (4) 逐次刊行物の購入数

	加須図書館		騎西図書館		北川辺図書館		童謡のふる里 おおとね図書館 (ノイエ)	
	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度
雑誌	131誌	140誌	149誌	149誌	85誌	92誌	78誌	102誌
新聞	19紙	19紙	22紙	23紙	19紙	19紙	12紙	14紙

表5 市内4館の逐次刊行物の収集数の推移

各館で重複して購入されていた雑誌は、できるだけ市内いずれかの館で購入するように調整し、資料を回送することにより、利用者のニーズに対応しております。しかし、最新号の雑誌は貸出をすることができないため、最新号の雑誌を閲覧するには購入した図書館でなければできないため、利用者からの不満も一部にあります。

各館で収集数が大きく異なるのは、旧1市3町当時の図書館整備計画の違いによるもので、各館の雑誌コーナーの収蔵能力や展示スペースが異なるということもあります。

#### (5) 市内図書館の情報システム等の現状

平成22年3月22日まで、旧1市3町の図書館として設置され、それぞれの図書館情報システムで運営してきた図書館が、合併を機に図書館情報システムを1つに統合し、基本的な運用面の統一を図りました。

しかしながら、合併前の各図書館の運用について異なる点も多く、合併以降においても細かい点の擦り合わせを行い、順次、統一を図っています。

新図書館情報システムでは、市内4館全ての蔵書を館内の検索端末だけではなく、インターネットや携帯電話で検索することができ、図書や雑誌などについては、資料の予約や貸出期限内における貸出期限の延長も可能となっています。(AV資料については、映像著作権の許諾の関係などから検索と貸出期限の延長のみ可能です。)

それに加えて、市内4館を結ぶ回送車を週に4日走らせ、図書や雑誌・AV資料(AV資料は、平成23年4月より回送実施)を搬送することによって、利用者が普段利用している身近な図書館で市内の資料を迅速に提供することが可能となっています。

## 第4章 図書館運営の主な課題

### 1 加須市立図書館としての一体的運営の強化

#### (1) 組織体制の明確化と特色のある図書館づくり

加須市立図書館は、合併により4館体制となりましたが、本市の図書館機能や図書館サービスの向上を図るためには、それぞれが持つ特性、役割や機能を明確にし、各館が持てる機能を十分に発揮するとともに、4館が相互に連携・協力しながら一体的な運営を行っていく必要があります。

また、電子化・ネット化の進行により、図書や資料など必要な情報はすべて、どこからでも入手可能となってきた状況の中、「図書館に行ってみよう」と



利用者に思わせるには、それぞれの図書館が持つ独自の収集物・展示物、利用者本位のサービス内容、工夫された豊かな空間性など、図書館の特色を出してそれぞれの魅力が発揮されることも必要となっています。

## （２）図書館運営における総合的な計画の検討

加須市立図書館における資料や情報の計画的な収集及び保存について、歴史的・地域的観点も含め、市内のどの館でも同様なサービスを受けられるようなサービス体制を構築しつつ、図書館資料整備の目標や方向性を定め、特色ある蔵書構成になるよう工夫する必要があります。

また、それらを円滑に提供できる体制を整備するために、図書館サービスに関する計画や市内の学校図書館への支援をはじめとする各関係機関との協力体制に関する計画なども含め、より効果的・効率的な運営を行っていくために中・長期的な図書館運営の総合的な計画を検討、策定する必要があります。

## （３）各種サービスの充実

図書館の利用者は幼児・児童から高齢者まで様々な職業、年齢層のため、それぞれの情報要求に応じた資料の収集や提供の工夫が必要となります。

また、来館困難な方へのサービスや利便性の高いサービスの検討も必要となります。

子ども向けサービスとしては、読書活動を豊かなものとするために、おはなし会をはじめとしたイベントの実施や子どもの関心の高い資料を集めて提供するなどの工夫を継続的に実施していく必要があります。

また、高齢者への対応も、生きがいや居場所づくり、健康問題に関する情報の提供など、高齢者の生涯学習を支援する上で必要になってきています。

それに加えて、障がい者サービスについても、情報提供媒体が従来のカセットテープからD A I S Yに変わりつつある状況で、来館困難な方や外国人へのサービスも視野に、施設や設備の整備も必要になってきています。

また、これらのサービスは、特定館で実施すれば良いというわけではなく、全市域へ等しく図書館サービスを提供できるように、適切な人員を配置しながら、工夫して運営していく必要があります。

※D A I S Y：視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためにカセットに代わるデジタル録音図書国際標準規格の情報システム

## （４）図書館ネットワークの充実

年間約7万冊に及ぶ図書が出版される現在、それを1自治体の図書館で対

応することはできません。

そのため、加須市立図書館では他の公共図書館と所蔵資料を相互に貸借することで利用者への対応をしているところですが、近年は、インターネット情報の増大により、利用者の要求も一層多様化しているため、資料の搬送といった物流面だけではなく、情報の共有化なども必要になってきています。

一般的に公共図書館は、いわゆる専門書のような資料はそれほど多く所蔵していません。必ずしも書籍になっている情報だけを利用者が要求しているわけではないため、レファレンスサービスのみならず、レフェラルサービスも円滑に進められるように、どこにその必要とする専門情報が存在するか、どこの機関と連携して調査すれば良いかなどの情報も各関係機関と協力して、ネットワークを構築していく必要があります。

また、加須市立図書館としては、できるだけ利用者の身近な存在となるように、市内の各学校への支援をはじめ、貸出・返却ポイントの拡大など、図書館サービス網を広げていくことについて検討していく必要もあります。

※レファレンスサービス：図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務

※レフェラルサービス：図書館利用者の依頼に応じ、利用者が必要とする情報の情報源となりうる人、もしくは、他の図書館や研究機関、専門家の紹介や、インターネットを用いた非記録情報へのアクセスなどを行う業務

## 2 図書館資料の充実

利用者に良きリピーターとなってもらうためには、絶えず新しい図書館資料を購入して、新鮮で魅力のある蔵書の維持に努める必要があります。『Lプラン21』（日本図書館協会，2001年）の「図書館の設置と運営に関する数値基準」では、人口10万～30万人の公立図書館において開架図書に占める新規図書の割合は10.9%で、現在市内の開架図書数が約34万冊のため、3万7千冊必要とされていますが、厳しい財政状況により、その半分程度が新規購入予定となっています。

一方、出版界ではデジタル書籍が出版されるなど、新たな情報媒体が登場し、国立国会図書館においても資料のデジタル化を本格的に実施する方向に進んでいます。それらの対応も検討する必要があります。

また、検索の容易性などから、デジタル資料やデータベース利用のニーズも少なくありません。基本的な参考資料や地域資料、視聴覚資料なども揃えていく必要があります、雑誌や新聞など、即時性を有する資料についても、多様な利用者要求に応えるために、より一層充実したものにしなければなりません。

### 3 情報発信と広報活動の強化

現在、図書館の広報活動の場としては、図書館のWebサイトや、市広報誌・お知らせ版、各館掲示などに限られています。

広報誌や館内ポスターなどでは、情報量も限られており、実際に伝わらないことも多いため、他の図書館に見られるように、Webサイトにおける情報の充実も必要になっています。

しかしながら、Web情報の強化だけでは、Web利用ができる利用者と利用できない利用者との情報格差が生じてしまいます。それらを踏まえて、Webサイトにおける情報の充実だけでなく、紙ベースの情報も充実させることによって、潜在的利用者の図書館利用を推進するために、広報活動の強化を図る必要があります。

### 4 地域ボランティア等の育成

図書館では、おはなし会等のイベントやブックスタートなど、地域のボランティアグループと協働しながら、読書振興に努めています。

また、障がい者サービスとしても、音訳ボランティアグループと協働して実施しています。

図書館ではそれぞれのボランティアグループが必要とする技能習得・向上をより一層支援していくために、各種ボランティア養成講座を継続的に開催するとともに、活動の場の提供や必要な情報の提供に限らず、各ボランティアグループの情報交換の場などを提供することによって、より充実した活動となるように支援していく必要があります。

### 5 図書館サービスを担う職員の育成と配置

図書館サービス範囲は多様化しており、高度な課題解決が必要となることがあります。図書館サービスを向上させていくためには、施設設備や資料といった面とともに、図書館職員としての人的サービスの向上が不可欠です。

また、利用者の情報要求に的確に対応するための専門的知識やノウハウは、

一朝一夕に実現できるものではなく、長い経験と実務によって形成されます。

さらに、図書館は、個人情報を多く扱い、Webサイトを開設し、図書館情報システムを運用している責任からも、資料の把握だけでなく、ITに関する知識も、身につける必要が出てきています。

それらも踏まえ、図書館サービスの理念を実現するだけでなく、それを担う専門的職員の適正な配置と長期的視点に立った育成に努める必要もあります。

そのため、人的サービスの中心となる司書としての能力の研鑽を心がけ、各種専門研修会や専門講習会への積極的な参加を促す必要があります。

## 6 図書館利用に関するアンケートから見るニーズへの対応

平成22年11月に利用者アンケートを実施し、利用者満足度は次のようになり、職員の対応や設備面では満足しているが、資料については、視聴覚資料を中心に満足度が低く、外国語資料・参考資料・地域資料については、利用度や認知度が低いためか、「わからない・無回答」が多い結果となっています。

	満足	普通	不満	わからない ・無回答
(1) 職員の対応(親切さ、的確さ、速さ)	66%	28%	3%	3%
(2) 雑誌の数や種類	39%	34%	16%	11%
(3) 新聞の数や種類	32%	40%	4%	24%
(4) CD、ビデオなど視聴覚資料	17%	26%	33%	24%
(5) 子どもの本や絵本	32%	30%	5%	33%
(6) 新刊本	27%	33%	20%	20%
(7) 専門書・教養書	18%	35%	16%	31%
(8) 実用書	18%	38%	11%	32%
(9) 外国語図書	11%	33%	8%	49%
(10) 辞典、年鑑などの参考資料	14%	34%	5%	46%
(11) 加須市の歴史・文化に関する資料	15%	34%	3%	47%
(12) 図書館からのお知らせ	27%	45%	3%	24%
(13) 図書館の催し物	26%	42%	4%	27%
(14) 図書館の案内・表示	34%	45%	5%	16%
(15) 閲覧するためのイス・机・照明等の設備	51%	31%	8%	10%
(16) 他の利用者マナー	34%	43%	13%	11%

また、今後のサービス充実希望や自由記述を見ても、図書館資料の充実に関するものが多くあげられています。

それ以外の大きなニーズとしては、貸出期間の延長や開館時間の延長などがあげられています。

貸出期間の延長は、資料の回転具合を考慮しつつ設定しなければなりません。また、開館時間の延長については、図書館職員の増員や光熱費の増大なども考えられるため、費用対効果を見極め、情報の収集を欠かさず、利用者の声に耳を傾けながら、検討を重ねていく必要があります。

## 第5章 今後の加須市立図書館運営の基本方針

加須市立図書館の基本的なあり方や図書館運営の現状と課題を踏まえて、次の事項を運営の基本方針としながら、市内4館体制のもと、各館が連携・協力しながら効果的で効率的な図書館運営やより良い図書館サービスが提供できるように努めていきます。

### 1 加須市立図書館としての一体的運営の強化を実現するために

#### (1) 組織体制の明確化と特色のある図書館づくりの推進

##### ア 加須図書館の役割と機能

加須図書館は、加須市立図書館全体の管理運営と組織的サービスを統括する中心館として位置づけ、全館で迅速な意思決定をして統一の取れたサービスを行い、各図書館の特色や役割を生かした運営をするために、総合的な運営機能、調整機能を持つとともに、基本的なサービスと加須図書館として特色のあるサービスを提供する地域の身近な図書館としての役割と機能を持ちます。

##### イ 騎西・北川辺・おおとね図書館の役割と機能

騎西図書館、北川辺図書館、童謡のふる里おおとね図書館については、それぞれの地域で身近な図書館として、基本的なサービスと、それぞれ各館が特色を持ったサービスを提供する地域館として位置づけします。

##### ウ 各図書館の特色

利用者の多様なニーズに応えながら、特色のある図書館づくりを進めるために、各館においては、市民の関心や時機をとらえたそれぞれ工夫した資料

展示などを行うとともに、これまでの各館の資料整備方針や地域の特色・歴史・特産物などを踏まえた資料の収集・整理・保存に努め、特色のある蔵書構成になるよう努めていきます。

#### 【加須図書館】

地域資料が充実しています。平和に関する資料、外国語資料の収集や地域の特産などを踏まえ「うどん」、「こいのぼり」などの資料についても収集に努めます。

#### 【騎西図書館】

雑誌類が充実しています。農業、園芸に関する資料を重点的に収集しています。地域の歴史や特産を踏まえ、「城」、「酒」などの資料についても収集に努めます。

#### 【北川辺図書館】

地域の偉人・特色を踏まえた「米」、「河川」、「田中正造」、「田口和美」などの資料について収集に努めます。

#### 【童謡のふる里おおとね図書館】

中高校生向けのライトノベルが充実しています。童謡に関する資料を重点的に収集しています。地域の特産である「苺」などの資料についても収集に努めます。

### (2) 図書館運営に関する基本計画の策定

- ・各館における図書館資料整備の目標と方針を検討し定めていきます。
- ・市民への充実した図書館サービスの提供と、より効果的・効率的な運営ができるよう、中・長期的な視点にたった図書館の運営やサービスに関する基本計画を策定していきます。

### (3) 各種サービスの充実

#### ○貸出・閲覧・予約・リクエストサービス

- ・窓口サービスについては、よりよい接遇を目指します。
- ・利用者の求める資料を迅速に提供できるよう、蔵書検索システムの充実、書架案内、書架の配置や資料の配架の工夫に努めます。

- ・予約・リクエストサービスについて、迅速・円滑な対応に努めます。
- ・図書館資料の各館の回送について、引き続き推進します。

#### ○児童へのサービス

- ・子どもの読書活動推進を図るため、「加須市子ども読書活動推進計画」を新たに策定します。
- ・子どもの読書活動の推進につながる資料展示を行います。
- ・児童書の充実と図書館利用の促進に努めます。
- ・ブックスタート事業を引き続き推進します。
- ・ブックトーク（本の紹介）について、幼稚園、学校等と連携し充実を図ります。
- ・学校等への団体貸出の推進を図ります。

#### ○成人へのサービス

- ・社会の情勢やニーズなどを敏感に読み取りながら、趣味や娯楽の資料、就職、日常の仕事、知識の習得や学習意欲など幅広いニーズに対応した資料収集と情報提供に努めます。

#### ○高齢者へのサービス

- ・高齢者向けの大活字本の充実や、医療、健康、余暇活動など幅広いニーズに対応した資料収集と情報提供に努めます。

#### ○障がい者へのサービス

- ・視覚障がい者に対するサービスを拡充していきます。
- ・関係機関等と連携を図り、利用促進のため積極的なPRを行います。
- ・点字図書館などとの連携を強化します。

#### ○来館困難者、外国人へのサービス

- ・アウトリーチサービスや多文化サービスの事例研究を進めます。

※アウトリーチサービス：病気など様々な理由により図書館に来館することができない利用者に、郵送や出前などの手法により図書館サービスを提供する業務

※多文化サービス：主に図書館を利用する外国人に対し、その母国語で書かれた資料や異文化間の相互理解に必要な資料などを提供する業務

#### ○レファレンスサービス

- ・利用者の課題解決に向けた情報提示の充実とその共有化を図ります。

#### (4) 図書館ネットワークの充実

- ・市内4館の情報ネットワークの有効活用により、図書館サービスの充実を図ります。
- ・公共図書館など他の各関係機関との連携を強化していきます。
- ・市内4館と関係部署による地域情報の共有化を検討します。
- ・貸出返却を行うサービスポイントの拡充について検討します。
- ・市内の各学校との連携拡充について検討します。

### 2 図書館資料の充実のために

- ・利用者ニーズに基づいた多様な資料の収集を進めます。
- ・行政資料や地域資料の収集とそれら情報の共有化を進めます。
- ・既存資料の積極的な利用促進を進めます。
- ・デジタル資料への対応について検討します。
- ・資料の保存体制について検討します。

### 3 情報発信と広報活動の強化のために

- ・利用者の情報へのアクセス支援と積極的な情報発信に努めます。
- ・利用者が図書館Webサイトにつながるためのブログ等あらゆる新たな方策についての研究を進めます。
- ・情報格差を生まないよう、紙媒体での情報提供に努めます。

### 4 地域ボランティア等の育成のために

- ・ボランティア育成講座の開催や研修会を引き続き開催します。
- ・各ボランティア同士が情報交換できるような場の提供を進めます。
- ・市民と協働し、市民参加の図書館づくりの推進を図ります。



## 5 図書館サービスを担う職員の育成と配置のために

- ・ 中長期的な視点にたつて専門的職員の育成に努めます。
- ・ 図書館職員の専門講習会等への積極的な参加を促します。
- ・ 課内研修体制の強化と、研修内容の共有化に努めます。

## 6 図書館利用者のニーズへの対応のために

- ・ 図書館アンケートの結果を分析し、図書館サービスの充実を図ります。
- ・ 利用者の声に常に耳を傾け、利用者ニーズへの対応を検討します。
- ・ 図書館サービスについての最新事例の情報収集と研究を重ねます。